



第 2 四 半 期 決 算 説 明 会

2013年(平成25年)11月15日

ネツレン

高周波熱錬株式会社

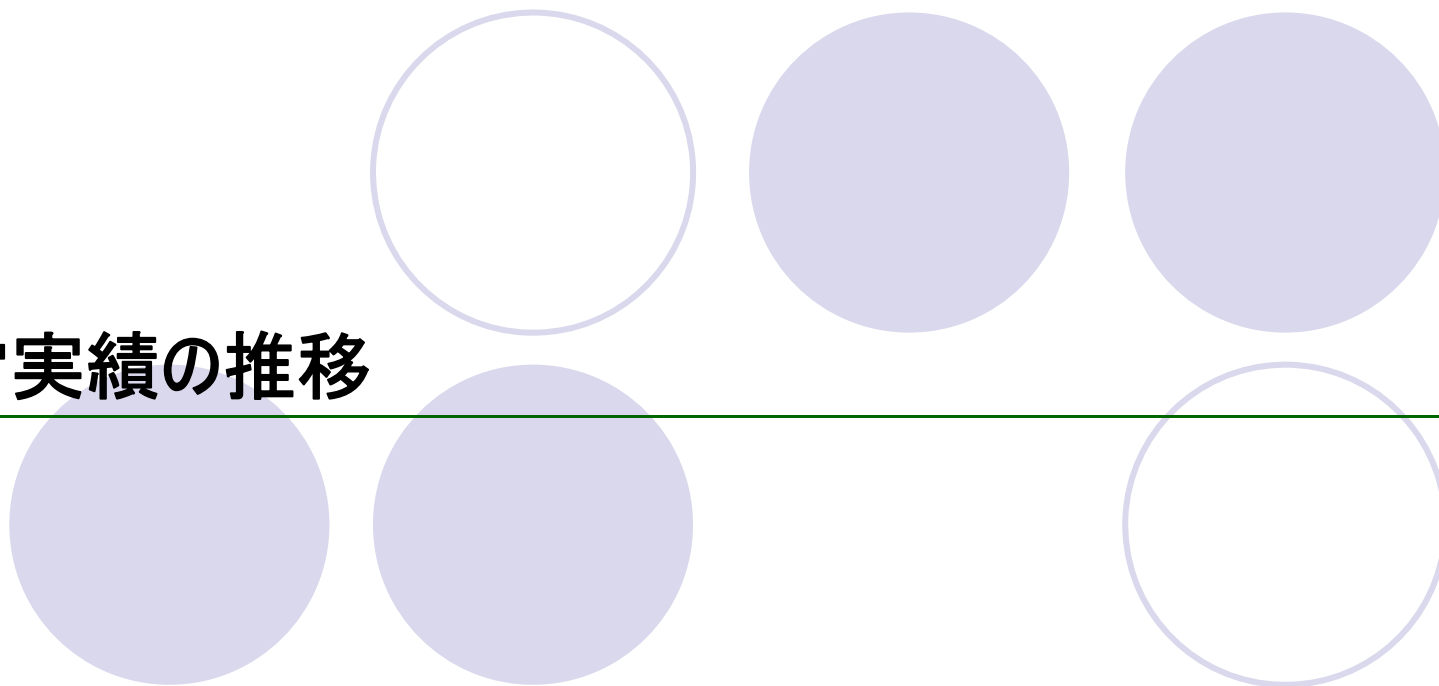
I 経営実績の推移

II 第12次中期経営計画の進捗状況

III 新商品・新技術・新規事業の推進

IV 2014年(平成26年)3月期第2四半期 連結決算の概要

I 経営実績の推移

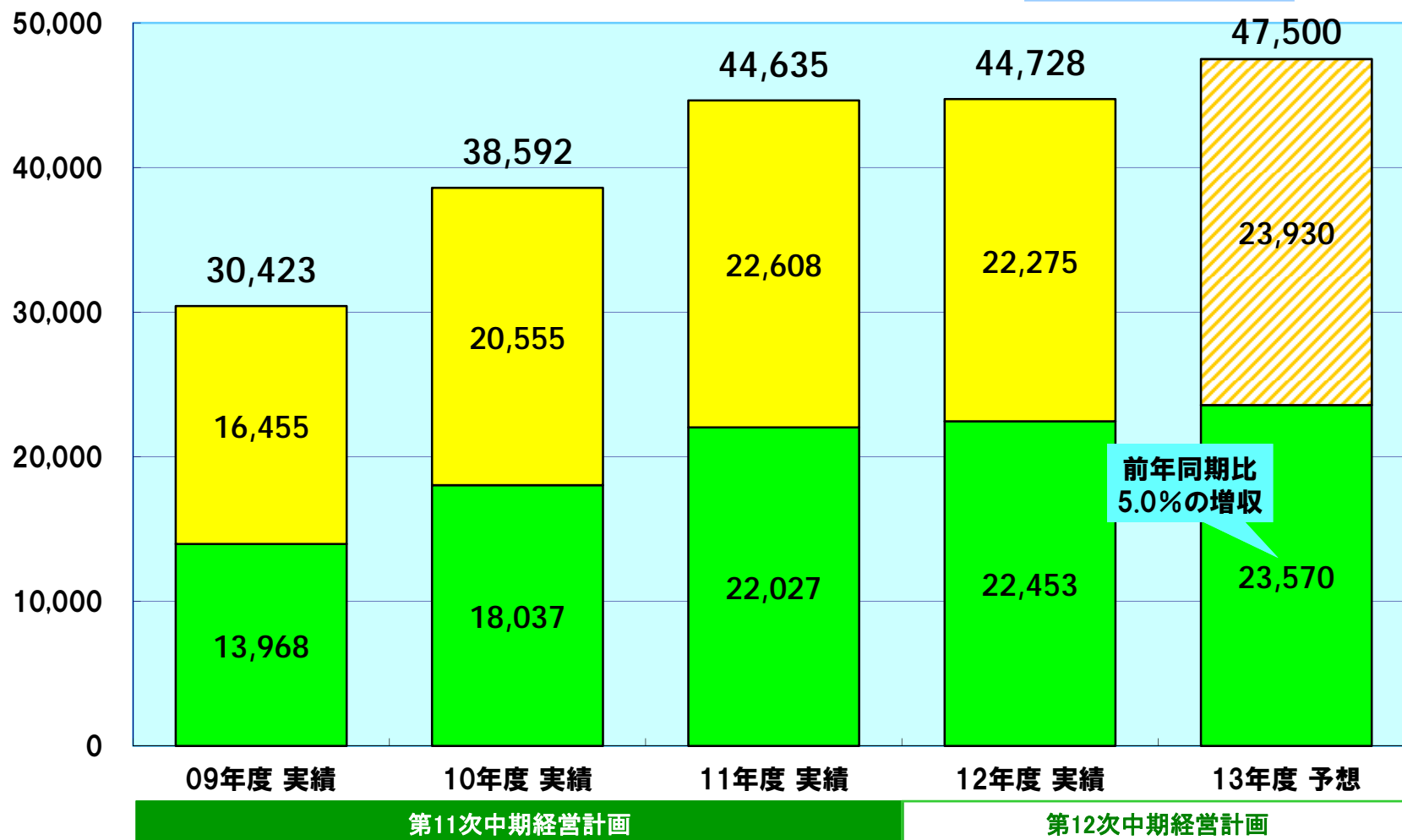


1

連結売上高

(単位:百万円)

下期 売上高
上期 売上高

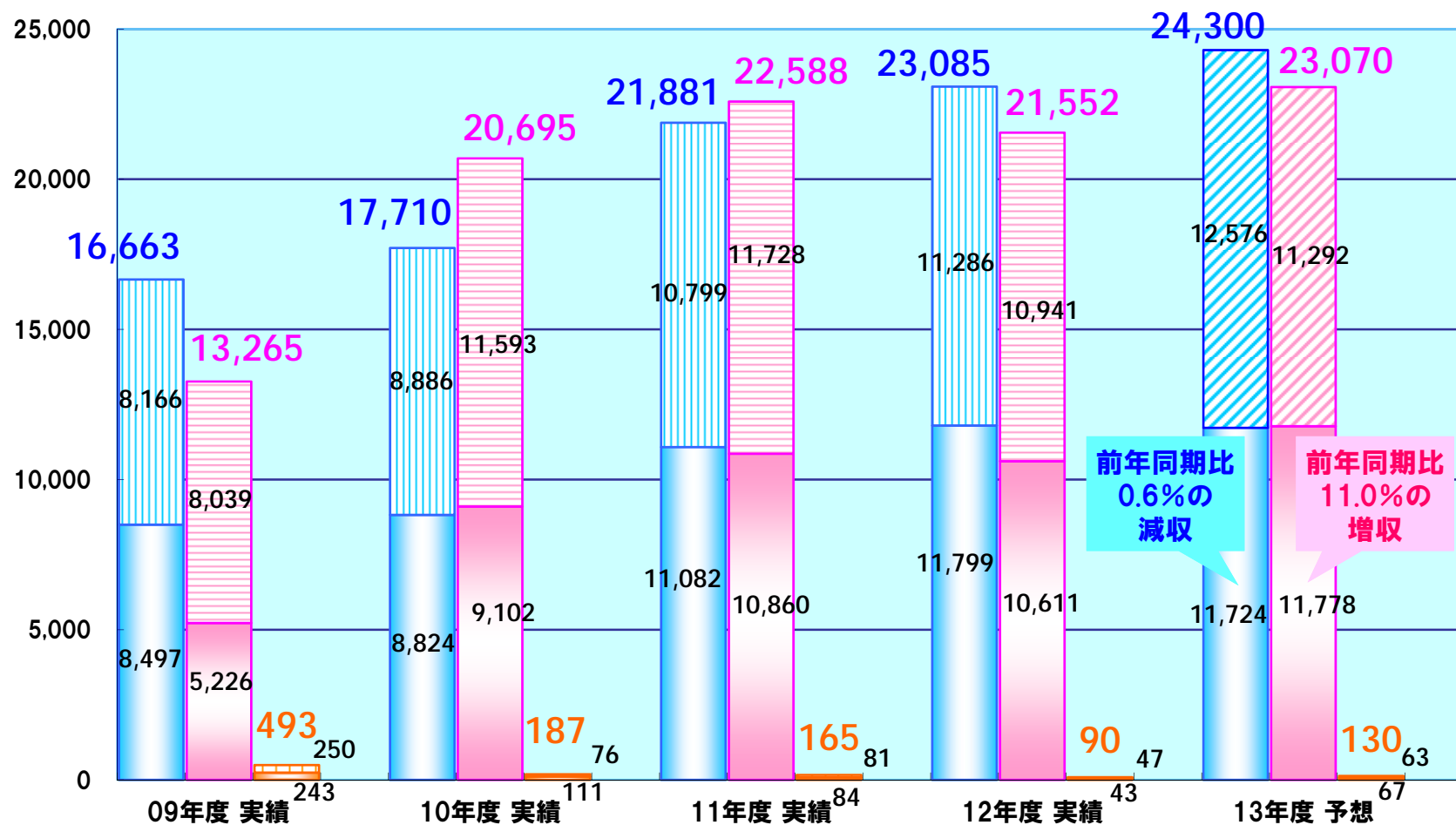


※換算レート ・13年度 1中国元=16円、1USドル=100円
・12年度 1中国元=14円、1USドル=86円

2

セグメント情報(連結売上高)

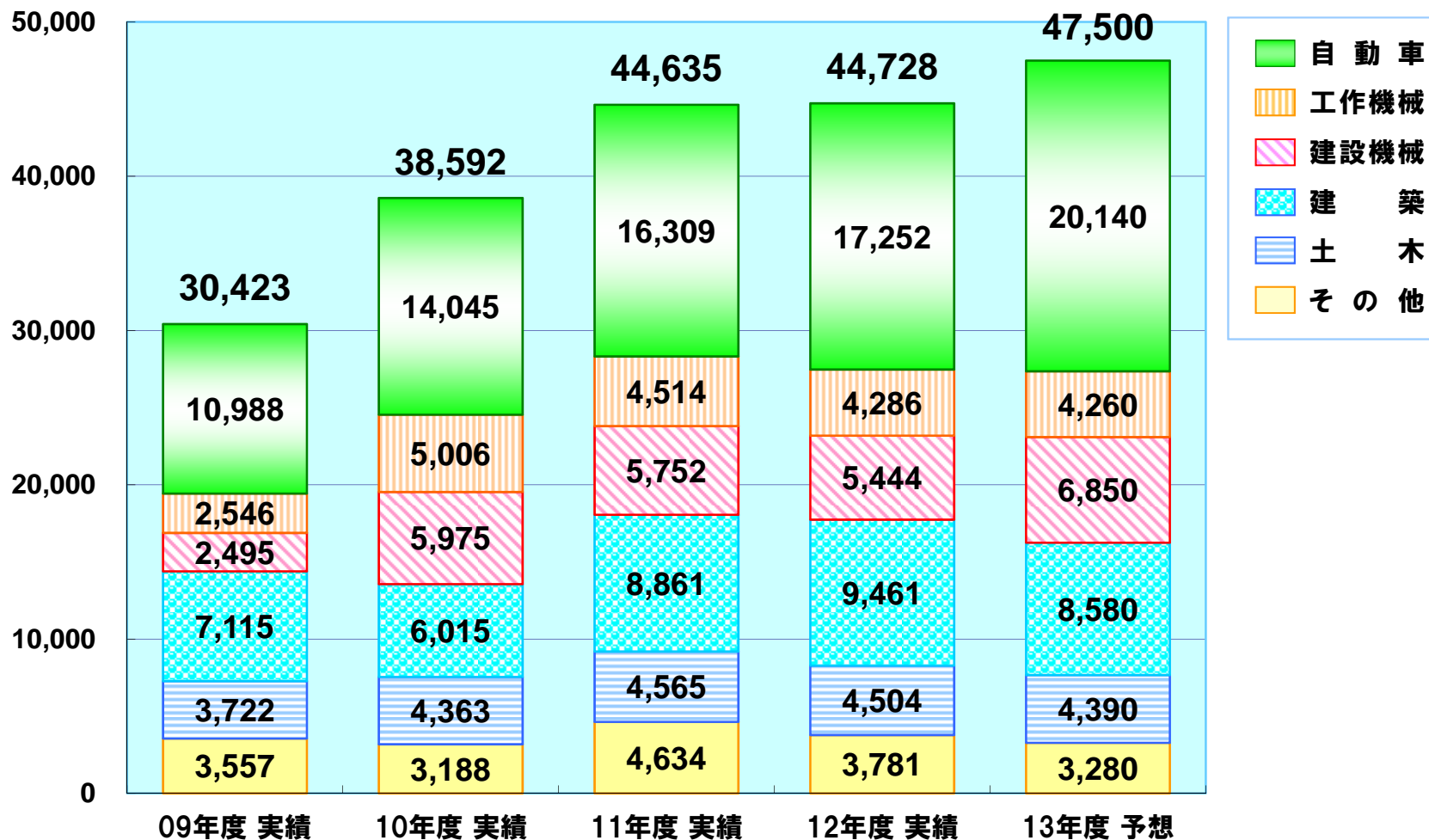
(単位:百万円)



3

業界別売上高

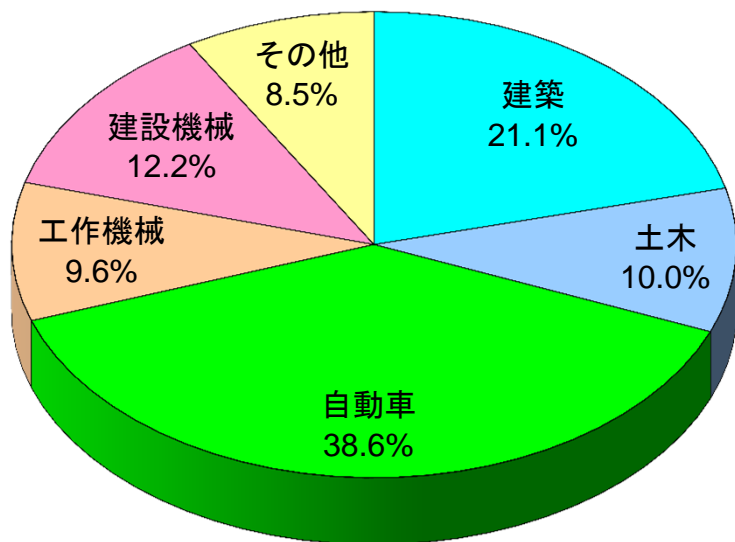
(単位:百万円)



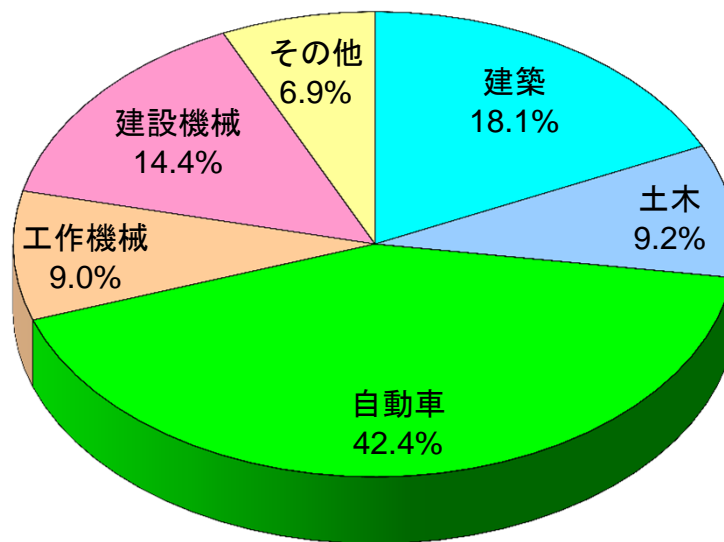
4

業界別売上高比率

2012年度実績



2013年度予想

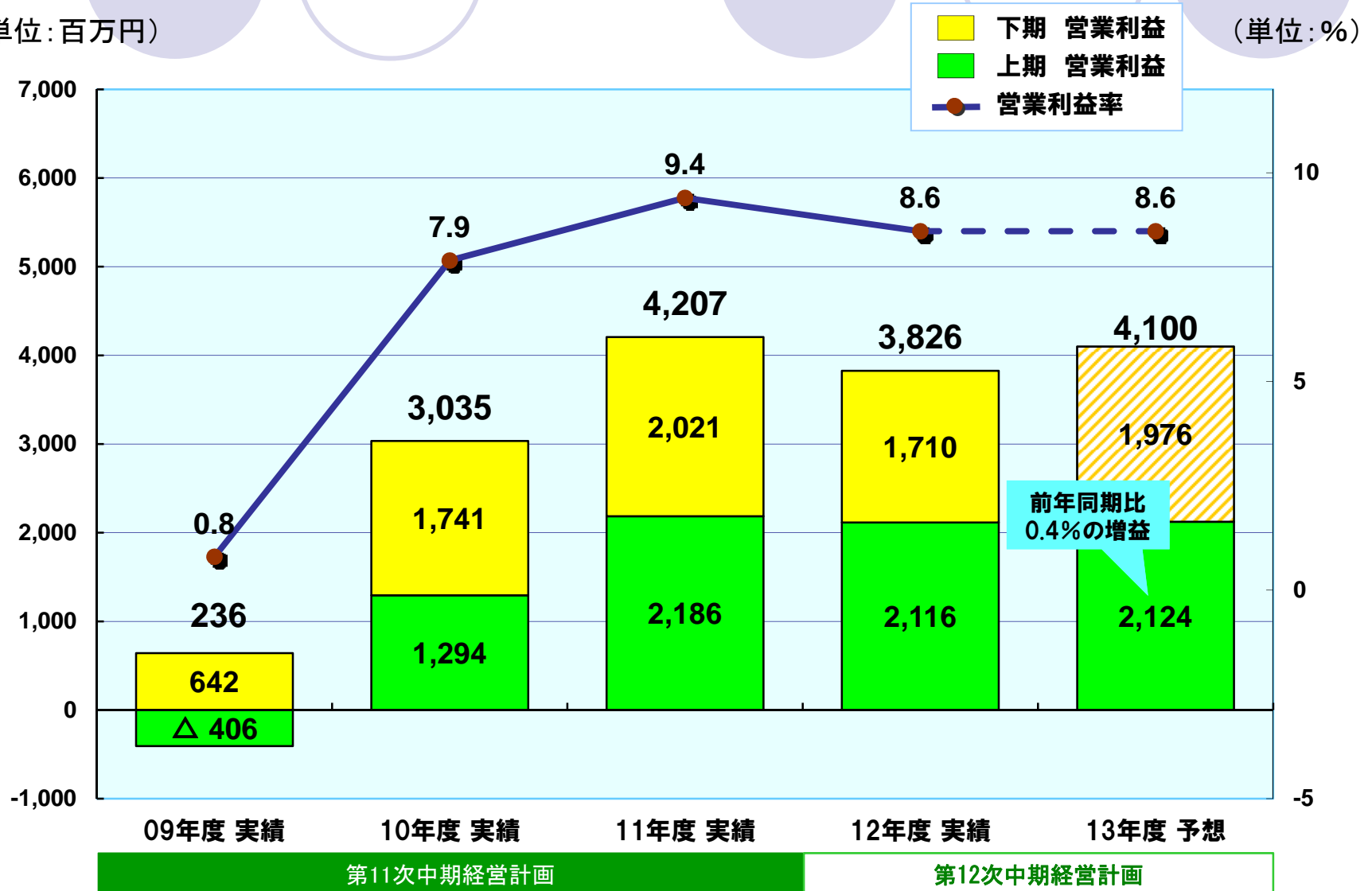


5

営業利益・営業利益率

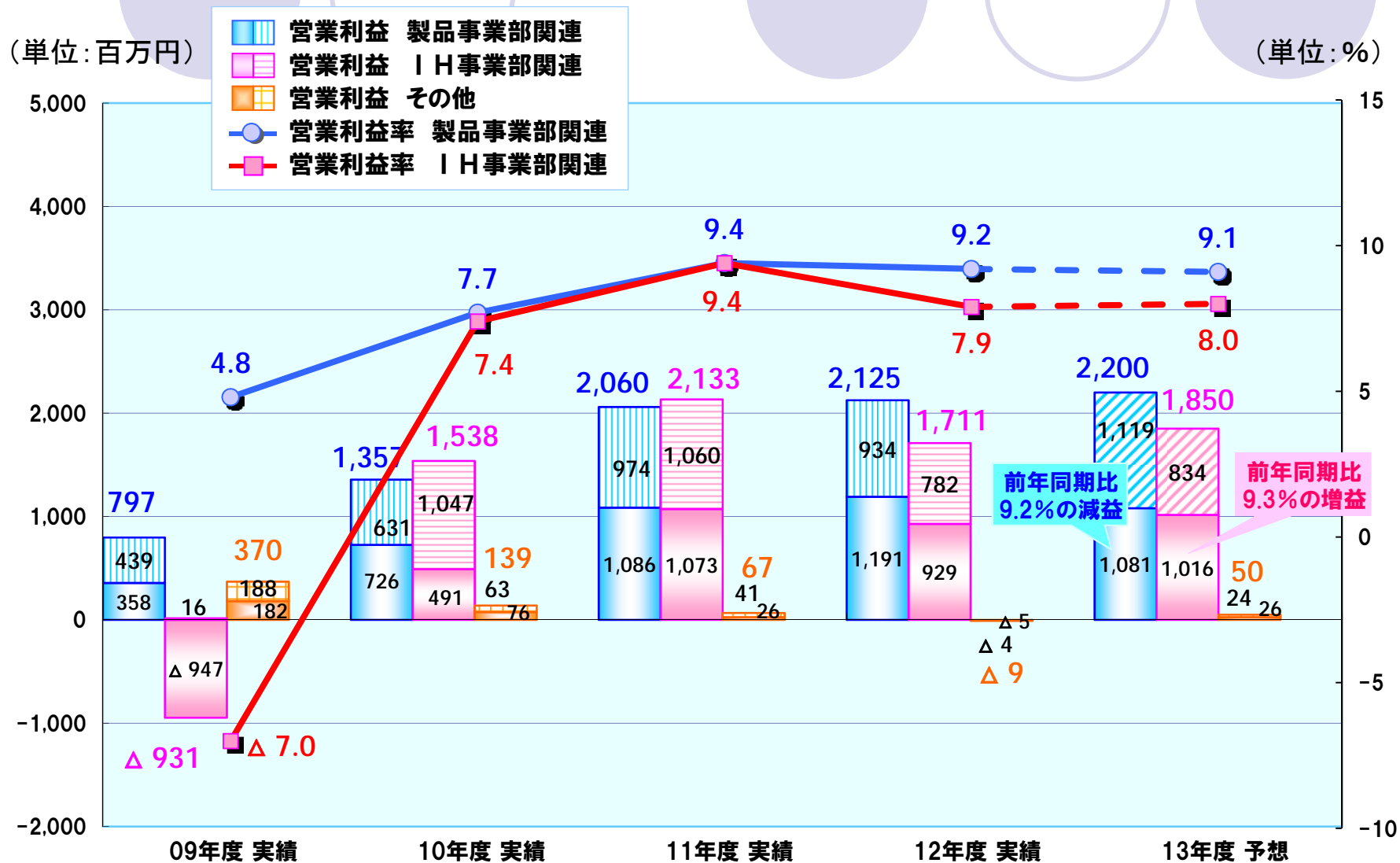
(単位:百万円)

(単位:%)



6

セグメント情報(営業利益・営業利益率)

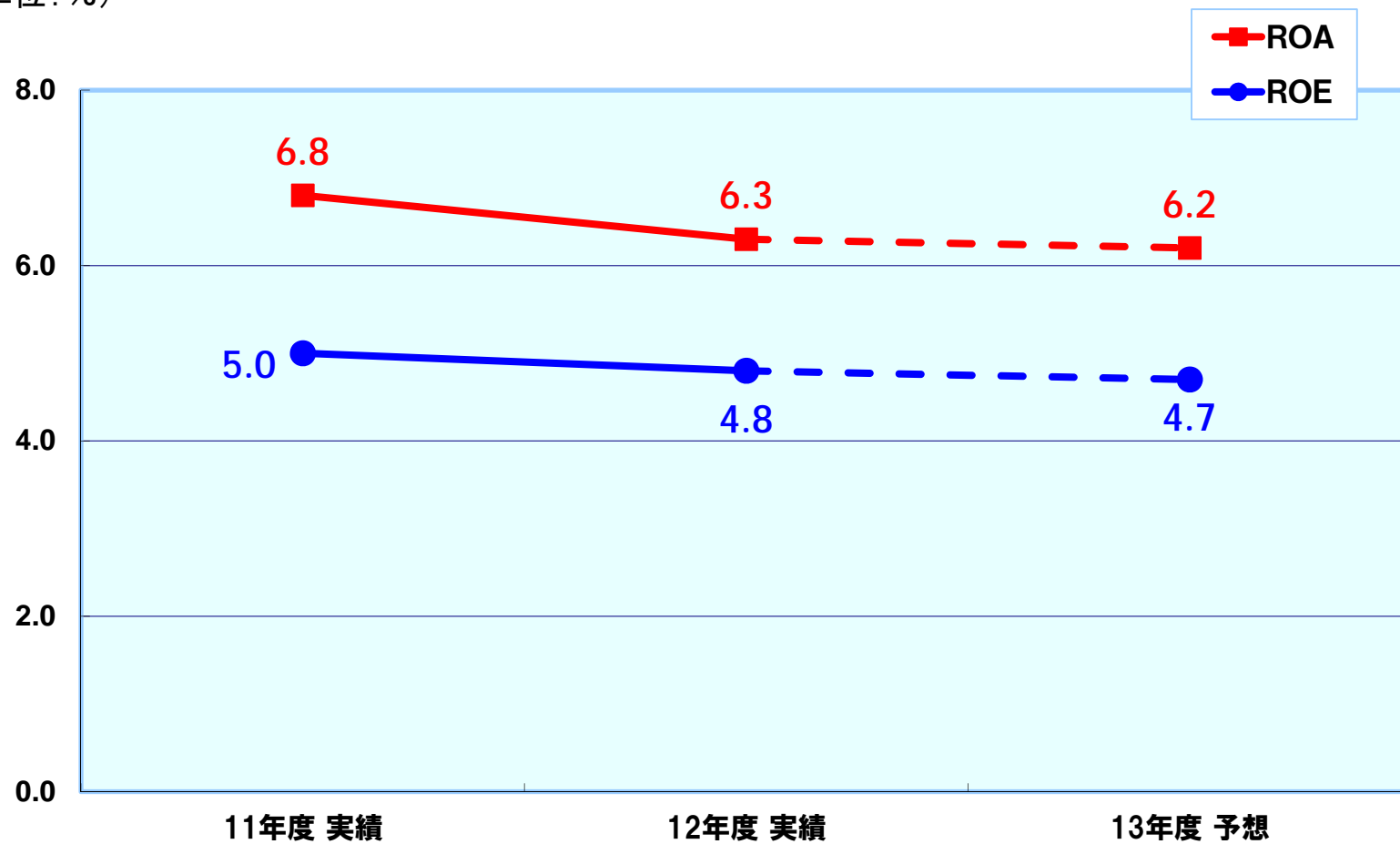


※セグメント間取引消去を含む。



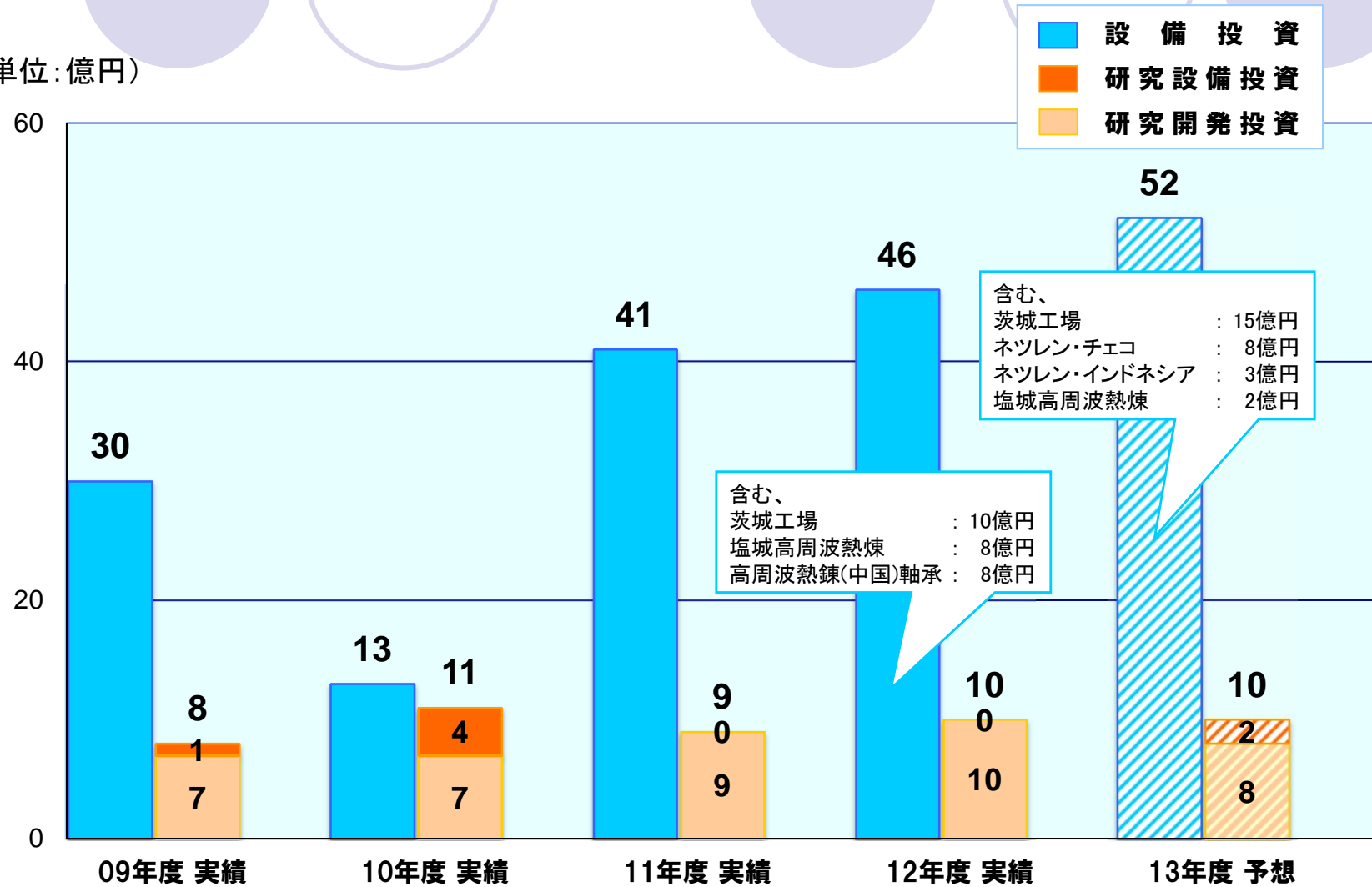
ROA・ROE

(単位: %)



設備投資・研究開発投資

(単位:億円)



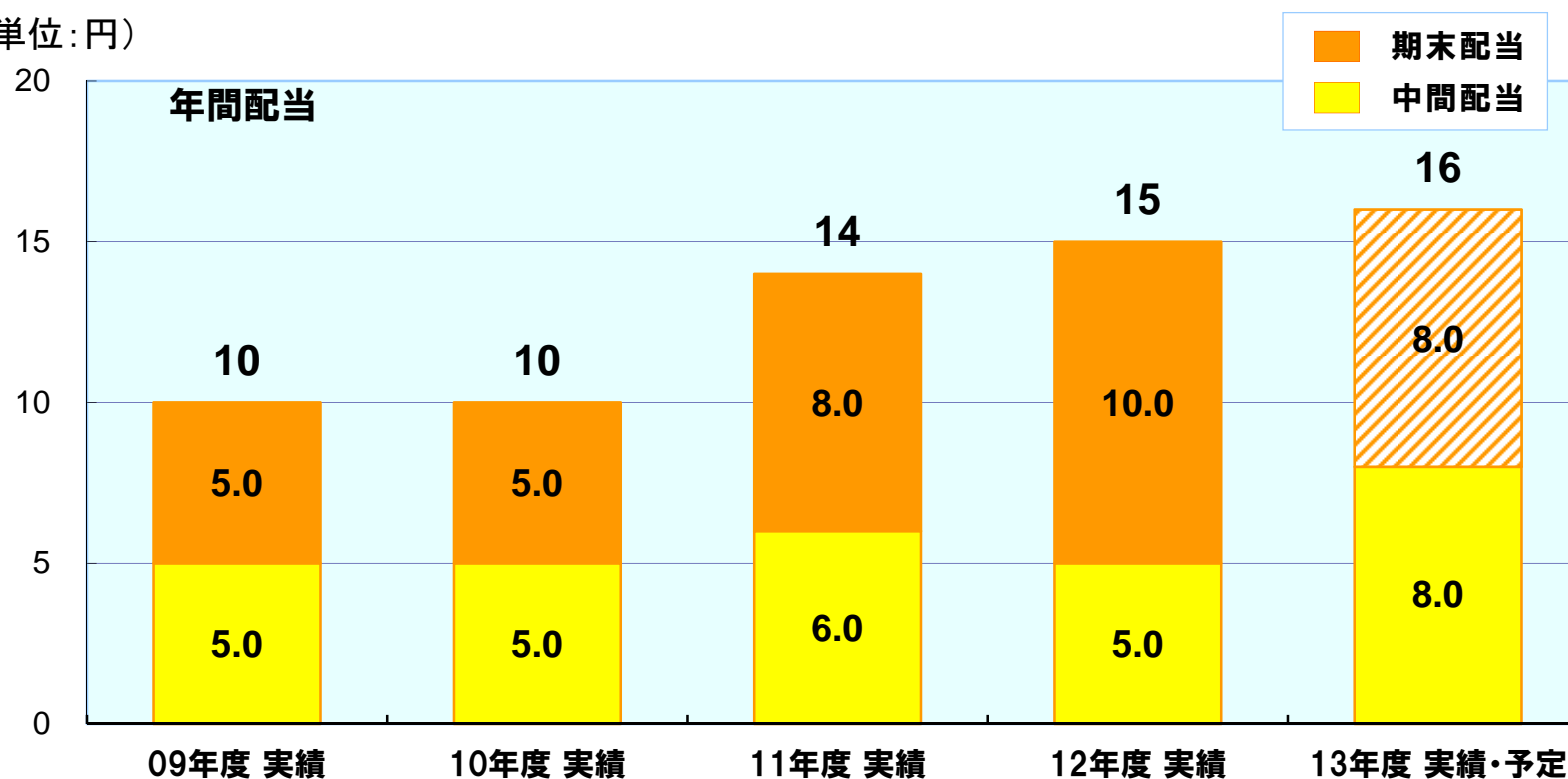
基本方針

基本的には、安定した配当を継続していくという方針に加え、業績に応じた利益配分を行うこととし、当社グループを取り巻く経営環境および財務の状況等を勘案のうえ、決定していくことを基本方針としています。

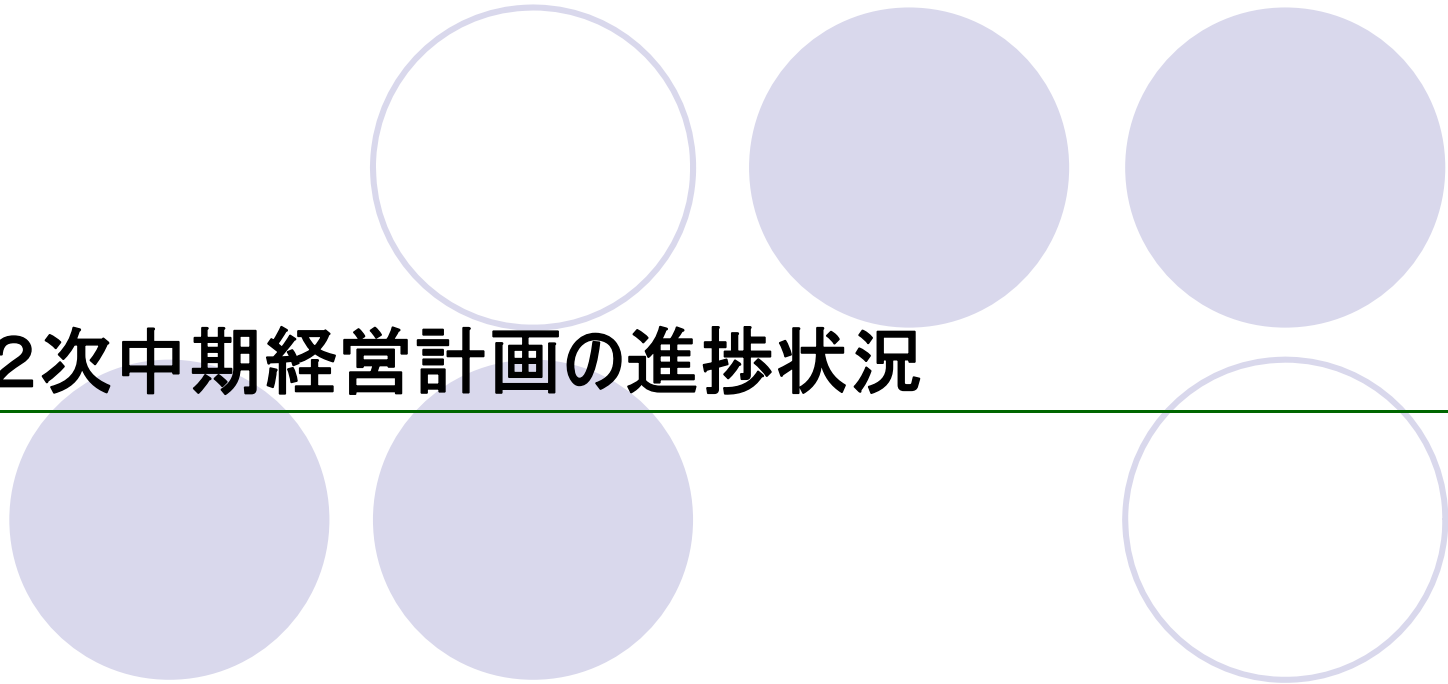
なお、原則として、「安定した配当」については、当面、年10円を下限とし、また、「業績に応じた利益配分」については、連結配当性向25%以上を目処としています。

(2011年10月13日公表)

(単位:円)



Ⅱ 第12次中期経営計画の進捗状況



スローガン「*Global Challenge 30*」

〔中期経営方針〕

1. 成長戦略の遂行と基盤づくり
2. グローバル事業の展開
3. 人財の確保と育成

〔主旨〕

成長戦略を遂行するため積極的に海外事業展開をし、海外売上高比率倍増（30%）に向け、果敢に挑戦する。

〔連結目標〕

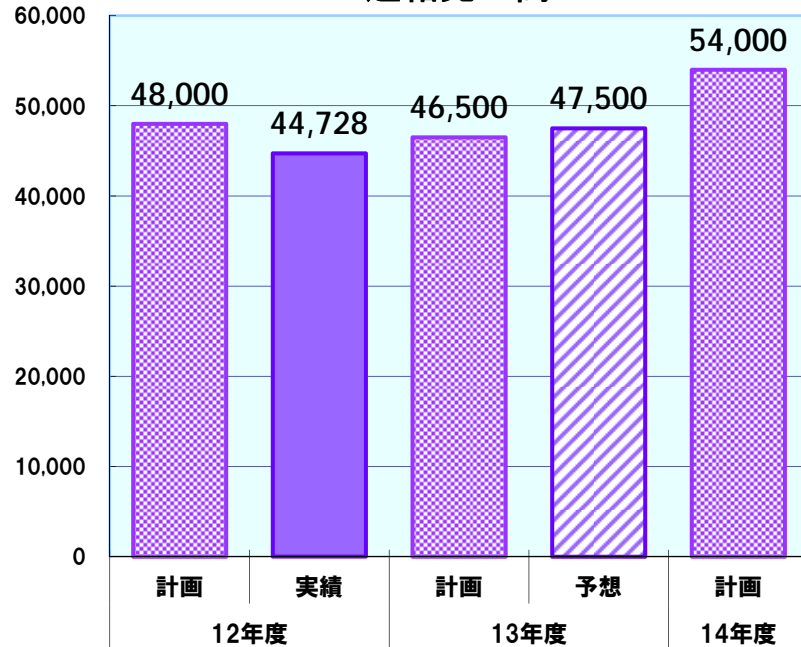
	2015年3月期 計画
売上高	540億円以上
うち、海外売上高比率	26%以上
営業利益	50億円以上
営業利益率	9.5%以上
ROA(総資産経常利益率)	7.5%以上
ROE(株主資本純利益率)	6.5%以上

※2013年5月に見直し後の計画値による。

第12次中期経営計画の実績と計画(連結売上高・連結営業利益)

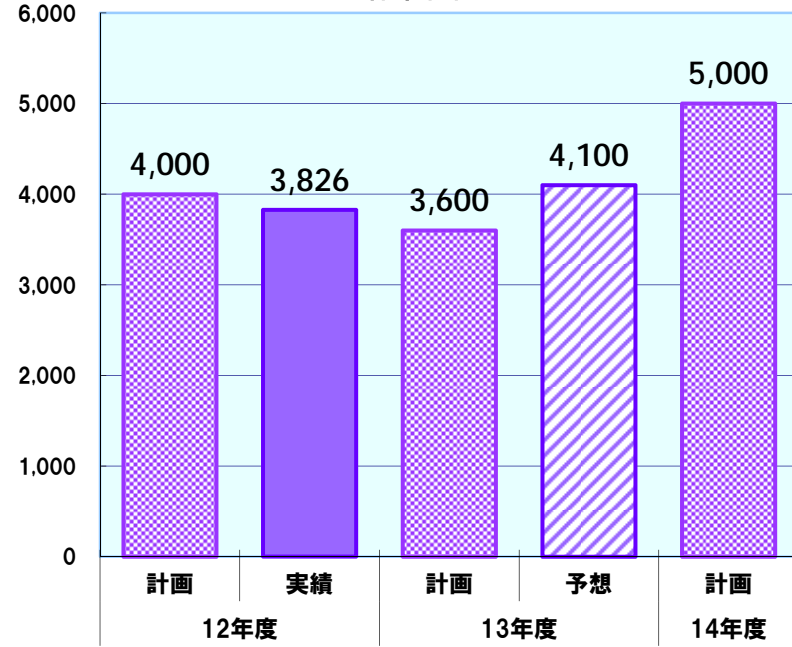
(単位:百万円)

連結売上高



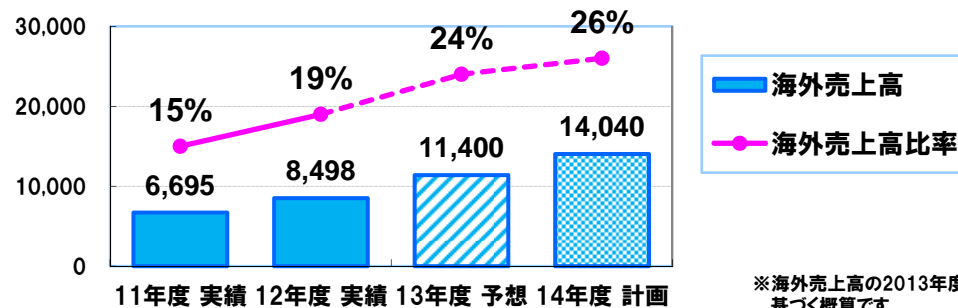
(単位:百万円)

連結営業利益



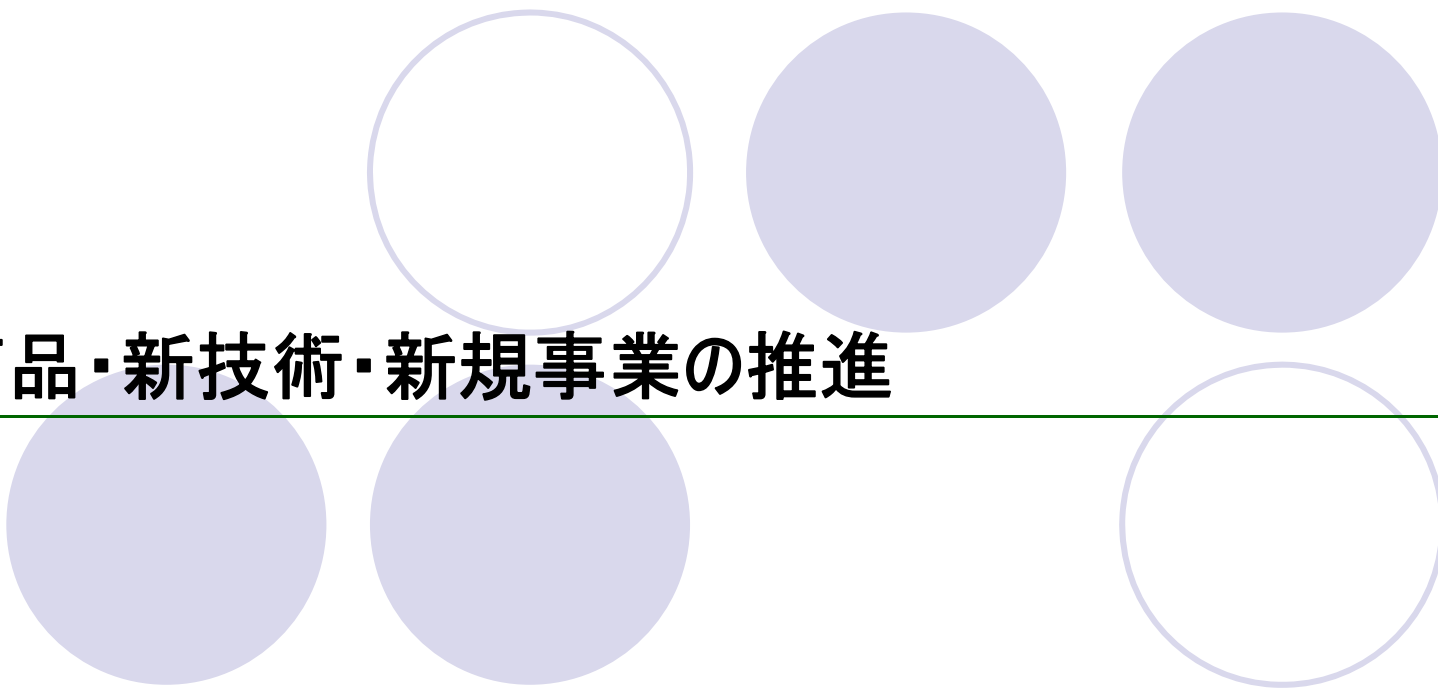
(単位:百万円)

海外 売上高・売上高比率



※海外売上高の2013年度予想は、第2四半期までの実績に基づく概算です。

Ⅲ 新商品・新技術・新規事業の推進



“EPSウォームホイール用芯金の冷間成形技術の開発”

内製化を通じて、品質の向上、軽量化、コスト低減、納期短縮の挑戦

【開発目的】

- 内製化による品質・納期の改善（特に海外生産では有効）
- 芯金の軽量化（従来品に比べ30%低減）
- 収益性の改善（製造コスト + 切削コスト）

【品質の比較】

鍛造品（従来品）



品質

- ・内径 : 抜き勾配が必要
- ・内径公差 : $\pm 0.3\text{mm}$
- ・重量 : 358g

※旋削費用 → 大

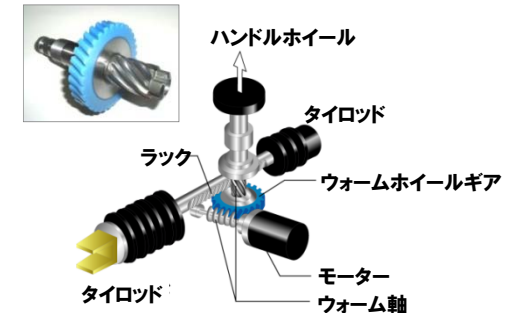
プレス品（開発品）



品質

- ・内径 : 抜き勾配が不要
- ・内径公差 : $\pm 0.05\text{mm}$
- ・重量 : 230g (-35%)

※旋削費用 → 小



【拡販活動】

- 新たな客先への展開（グローバル事業展開）

開発目標達成

新規事業の推進

1. 新評価による高強度せん断補強筋 1275(ウルボン)の建築分野および土木分野への拡販



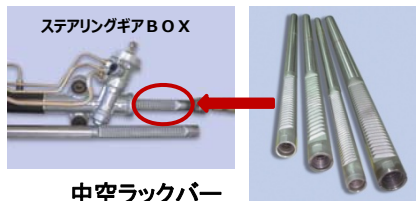
高強度せん断補強筋1275

2. フロントフォークインナーチューブの加工・熱処理一貫加工の事業化の推進

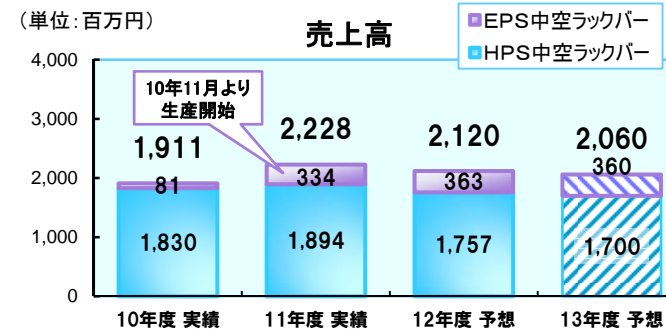
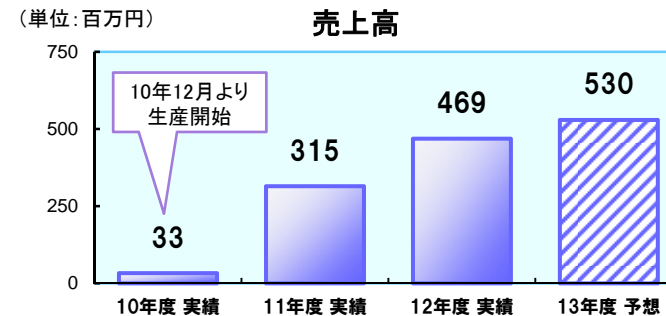
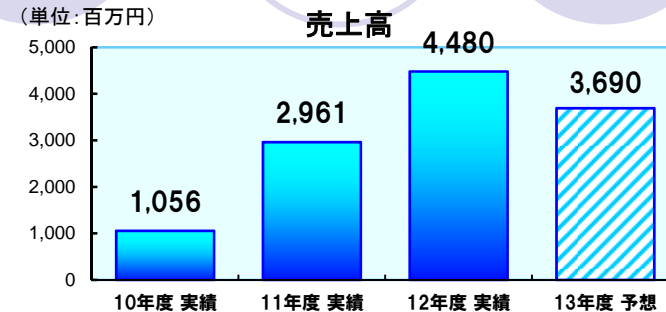


フロントフォークインナーチューブ

3. 電動パワーステアリング用中空ラックバーの事業化の推進



中空ラックバー



※ EPS : 電動パワーステアリング
HPS : 油圧パワーステアリング

“製造原価改善、生産性の向上による収益性の改善”

中国・欧州・インドネシア等の需要低迷による減産の中、抜本的な製造原価改善、新工法の開発および拡販を通じて収益性の改善を目指す

1. 神戸工場の取り組み

- 画期的な熱処理ラインの構築
- 機械加工、組立ラインの自動化推進
- 新規顧客の拡販および新製品への展開

旋回輪事業拡大プロジェクト発足

2. 高周波熱錬（中国）軸承有限公司の取り組み

- 小型機種に続き中型・大型機種の生産を開始（2013年上期）
- 中国素材の採用を通じて大幅なコスト削減（現在、試作評価中）
- 生産量に対応したフレキシブルな人員体制の確立（人・生産性の向上）

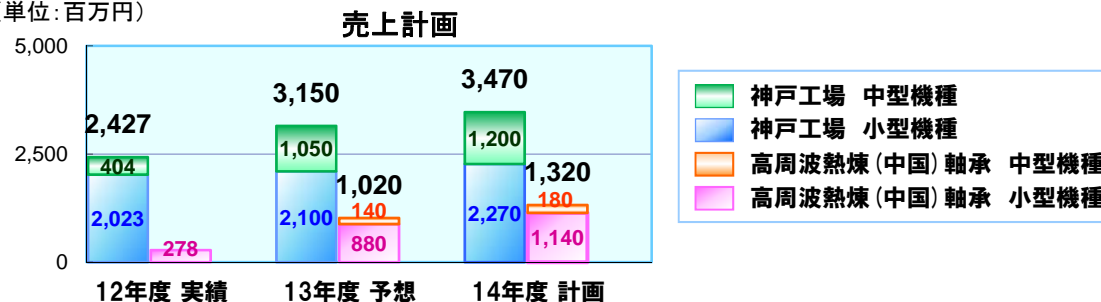


神戸工場



高周波熱錬（中国）軸承有限公司

(単位:百万円)

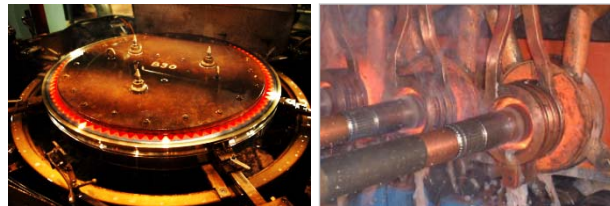


“茨城工場(ひたちなか市)の早期生産体制の確立” (2013年11月操業開始)

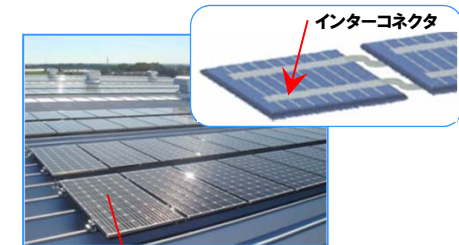
建設機械業界の低迷に対応し、一部設備計画を見直すと共に積極的に新規顧客(自動車業界他)への拡販を展開する

1. 設備計画の見直し

- 設備の集約
- 一部設備導入の延期



設置する高周波熱処理装置の例



弊社インターコネクタを使用した太陽光発電を屋根に設置

2. 新規顧客の開拓

- サービス強化
- 最先端技術により顧客のニーズへの対応強化
- 熱処理前後工程の取り込み(一貫加工化)

3. 寒川工場および(株)netzren・竜ヶ崎の今後の計画

- 寒川工場 …………… 設備を一部茨城工場に移設、規模を縮小し、操業を継続
- (株)netzren・竜ヶ崎 …… 2014年度内に茨城工場と統合予定



茨城工場

“中国自動車産業の北の拠点である天津地区に 熱処理受託加工事業を展開”

中国熱処理設備・受託加工メーカー天津豊東熱処理有限公司に2013年11月
資本参加(3.8億円)し、将来、高周波熱処理受託加工市場に新規参入

合併企業の概要

天津豊東熱処理有限公司

- 所在地 中華人民共和国天津市
- 事業内容(既存) 浸炭熱処理炉の製造・販売、浸炭熱処理受託加工
(新規) 高周波熱処理受託加工、大型熱処理炉の製造
- 資本金 USD900万(約9億円)
- 事業形態合併 (Netzren 25%、その他 75%)
- 新工場建設 2013年10月に敷地面積33,000㎡を購入、新工場を建設

※Netzrenの資本参加により、新たに高周波熱処理事業を2014年8月から開始予定



Netzren・中国
熱処理受託加工ネットワーク



2014年8月完成予定の新工場

17

グローバル事業の展開(2)

“ネツレンの固有技術を生かし、欧州・アセアン市場へ積極参入”

1. Neturen Czech s. r. o. (ネツレン・チェコ有限会社)

欧州および日系自動車メーカー等への高強度ばね鋼線(ITW)の供給

- 所在地: チェコ共和国 Usti州 Zatec工業団地
- 現在、工場建設中、2014年4月操業開始予定



工場建設中

2. PT. NETUREN INDONESIA (ネツレン・インドネシア株式会社)

ASEAN市場におけるIH(誘導加熱)設備販売サービス
および熱処理受託加工の推進

- 所在地: インドネシア共和国ジャワ州ブカシ県デルタマス・シティ工業団地
- 現在、工場建設中、2014年5月操業開始予定
(営業活動は、2014年1月より開始)

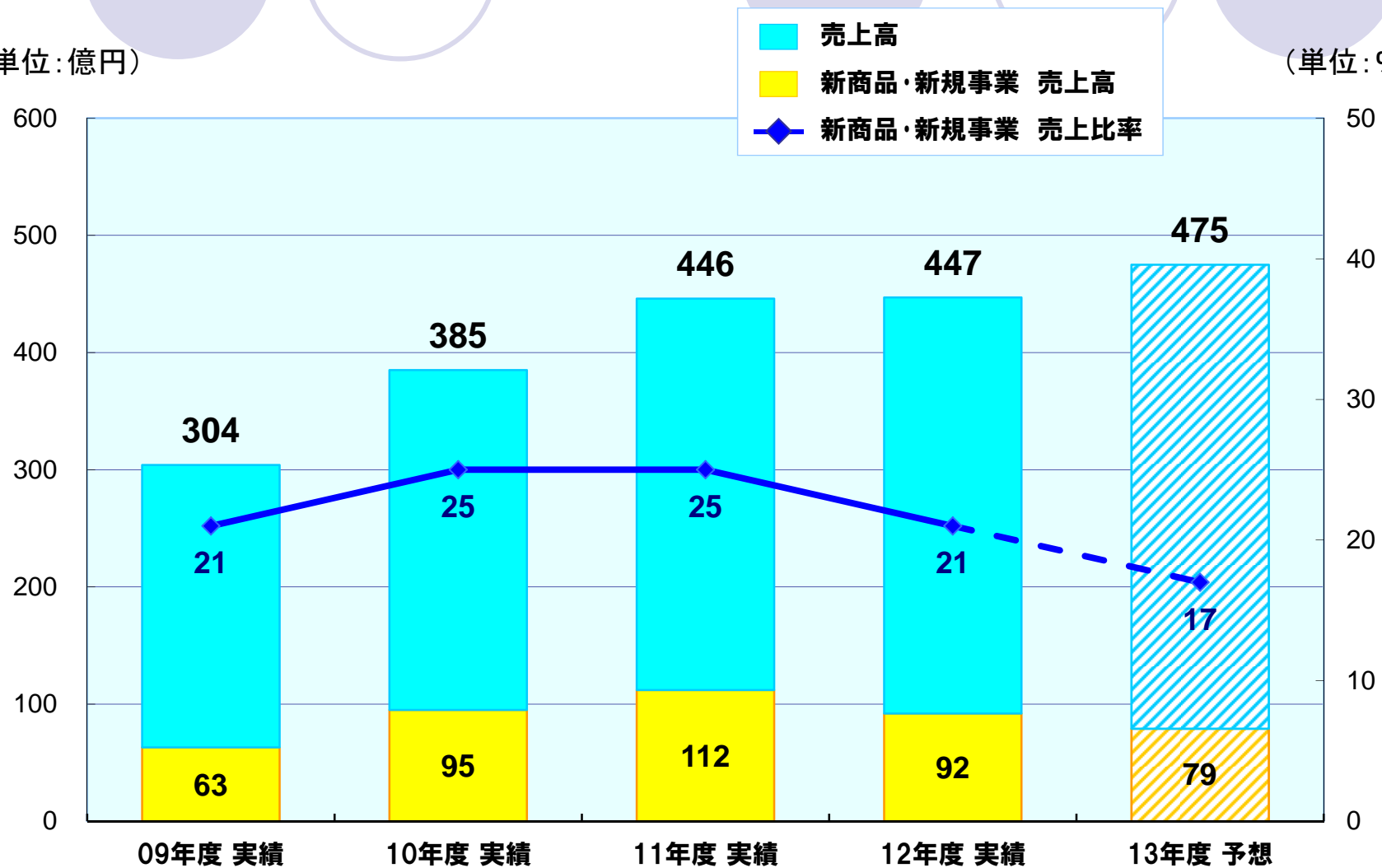


地鎮祭:10月28日

新商品・新規事業売上高

(単位:億円)

(単位:%)



※新商品・新規事業売上高は、 Netzren 新商品・新規事業売上基準による。



IV 2014年(平成26年)3月期第2四半期 連結決算の概要

1. 全般

売上高は、海外子会社の業績が堅調に推移し、23,570百万円と前年同期比5.0%の増収となりました。

営業利益は、2,124百万円と前年同期比0.4%の増益、経常利益は、2,468百万円と前年同期比8.9%の増益、また、四半期純利益は、前年同期と異なり多額の特別損失の計上がなかったため、1,638百万円と前年同期比164.8%の増益となりました。

2. セグメント別

(1) 製品事業部関連事業

当社主力製品である建設関連製品の販売量は、高強度せん断補強筋の販売量が減少したことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

また、高強度ばね鋼線(ITW)の販売量は、海外子会社での販売が堅調であったことなどにより、前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は、11,724百万円と前年同期比0.6%の減収、営業利益は、1,081百万円と前年同期比9.2%の減益となりました。

(2) IH事業部関連事業

関連事業別の売上高につきましては、熱処理受託加工関連は、前年同期と比較し減少いたしました。建設機械部品関連においては、国内および中国の連結子会社とも、増加いたしました。

また、自動車部品関連においては、前年同期並みとなり、誘導加熱装置関連においては、受注環境が堅調に推移しており、前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は、11,778百万円と前年同期比11.0%の増収、営業利益は、1,016百万円と前年同期比9.3%の増益となりました。

(3) その他

一部未契約状態となっていた賃貸用オフィスのフロアにおいて、賃貸契約が締結されたことなどにより、賃貸収入は増加いたしました。

この結果、売上高は、67百万円と前年同期比56.5%の増収、営業利益は、26百万円(前年同期は5百万円の損失)となりました。

3. 先行き不透明感が強い中、フリーキャッシュ・フローの黒字、実質的な無借金経営、高い自己資本比率など、健全かつ強固な財務体質を維持しています。

(単位:百万円)

	2012年 9月期	2013年 9月期	増 減	増減率(%)	2013年 3月期
売 上 高	22,453	23,570	1,116	5.0	44,728
営 業 利 益	2,116	2,124	8	0.4	3,826
経 常 利 益	2,267	2,468	201	8.9	4,361
四半期(当期)純利益	619	1,638	1,019	164.8	2,422

2014年3月期第2四半期 連結決算(単独期間)の要点(4)

(単位:百万円)

	2013年 3月期	2014年 3月期		前年同期比		直前四半期比	
	第2四半期	第1四半期	第2四半期	増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
製品事業部関連事業	5,850	5,800	5,923	73	1.2	122	2.1
IH事業部関連事業	5,580	5,740	6,038	457	8.2	298	5.2
その他	21	33	33	12	59.5	0	1.7
売上高	11,452	11,574	11,996	543	4.7	421	3.6
製品事業部関連事業	583	572	509	△ 74	△ 12.8	△ 63	△ 11.1
IH事業部関連事業	460	526	489	29	6.4	△ 37	△ 7.1
その他	△ 3	9	16	20	-	6	71.5
営業利益	1,040	1,109	1,015	△ 25	△ 2.4	△ 94	△ 8.5
経常利益	1,107	1,277	1,190	82	7.5	△ 87	△ 6.8
四半期純利益	383	835	803	419	109.5	△ 32	△ 3.9

(単位:百万円)

事業区分	主な製品	2012年 9月期	2013年 9月期	増 減	増減率(%)	2013年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	11,799	11,724	△ 74	△ 0.6	23,085
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	10,611	11,778	1,167	11.0	21,552
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	43	67	24	56.5	90
合 計		22,453	23,570	1,116	5.0	44,728

(単位:百万円)

事業区分	主な製品	2012年 9月期	2013年 9月期	増 減	増減率(%)	2013年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	1,191	1,081	△ 110	△ 9.2	2,125
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	929	1,016	86	9.3	1,711
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	△ 5	26	32	-	△ 9
合 計		2,116	2,124	8	0.4	3,826

※()は、セグメント間取引消去。

25

連結営業利益増減内容

(単位:百万円)

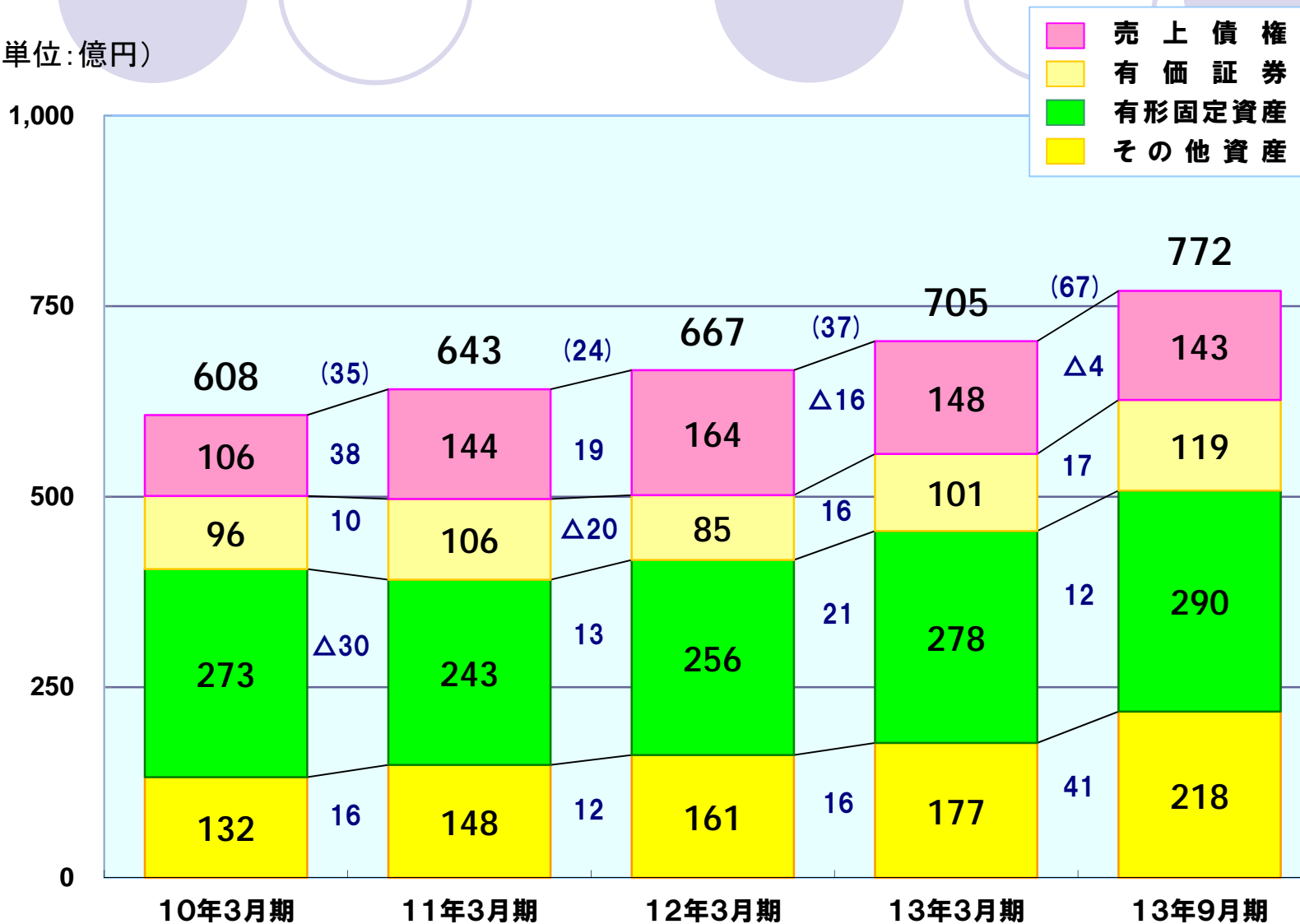


(単位:百万円)

科目	期別	2012年 9月期	2013年 9月期	増減	増減率 (%)	2013年 3月期
売上高		22,453	23,570	1,116	5.0	44,728
売上原価		17,069	18,114	1,044	6.1	34,496
売上総利益		5,383	5,456	72	1.3	10,232
販売費及び一般管理費		3,267	3,331	63	2.0	6,405
営業利益		2,116	2,124	8	0.4	3,826
営業外収益		221	395	174	78.8	635
営業外費用		70	51	△ 18	△ 26.3	100
経常利益		2,267	2,468	201	8.9	4,361
特別利益		5	109	104	1,840.9	10
特別損失		1,121	4	△ 1,116	△ 99.6	170
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,151	2,573	1,422	123.6	4,201
法人税、住民税及び事業税		424	681	257	60.6	1,484
法人税等調整額		-	-	-	-	54
少数株主損益		107	252	145	134.7	239
四半期(当期)純利益		619	1,638	1,019	164.8	2,422

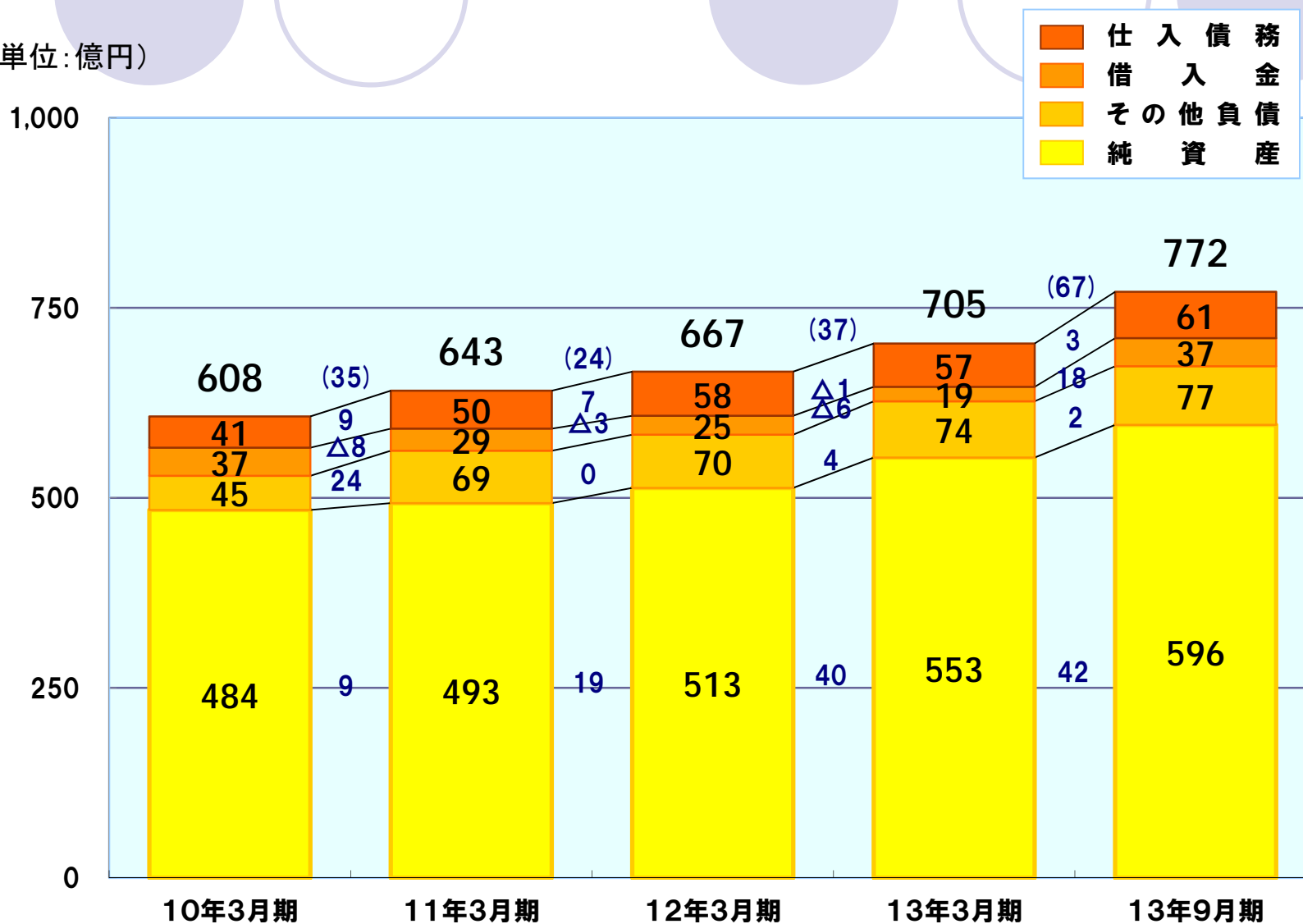
2013年9月期 資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



2013年9月期 負債・純資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



2014年3月期第2四半期 キャッシュ・フロー(連結)

(単位:百万円)

科 目	2012年 9月期	2013年 9月期	対前年同期比 増 減	2013年 3月期
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,151	2,573	1,422	4,201
減価償却費	1,228	1,250	21	2,669
売上債権の増減	944	694	△ 249	1,806
仕入債務の増減	151	243	92	△184
その他	△ 1,540	△ 1,696	△ 156	△3,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,935	3,066	1,130	5,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,308	△ 1,878	△ 570	△4,679
フリーキャッシュ・フロー	627	1,187	559	725
借入金	△ 418	1,661	2,079	△771
自己株式の取得	△ 0	△ 0	△ 0	△0
配当金の支払額	△ 340	△ 426	△ 85	△554
その他	337	73	△ 264	319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 421	1,307	1,729	△1,006
キャッシュ・フロー四半期(期末)残高	11,148	14,036	2,888	10,843

1. 全般

第2四半期は、海外子会社での高強度ばね鋼線(ITW)をはじめ、建設機械部品関連および装置関連が堅調に推移し、当初の業績予想(5月)を上回りました。実績および現時点における下期の見通しを勘案した結果、通期連結業績予想を修正いたしました。

売上高は、47,500百万円と前年同期比6.2%の増収、営業利益は、4,100百万円と前年同期比7.1%の増益、経常利益は、4,600百万円と前年同期比5.5%の増益、当期純利益は、2,700百万円と前年同期比11.5%の増益を見込んでおります。

2. セグメント別

(1) 製品事業部関連事業

国内における高強度せん断補強筋の価格・シェア競争が激化すると見込まれますが、高強度ばね鋼線(ITW)の中国および米国での販売が増加すると予想され、売上高は、24,300百万円と前年同期比5.3%の増収、営業利益は、2,200百万円と前年同期比3.5%の増益を見込んでおります。

(2) IH事業部関連事業

新興国の減速により、建設機械業界の見通しは不透明ではありますが、その他関連業界からの受注量が堅調に推移すると予想され、売上高は、23,070百万円と前年同期比7.0%の増収、営業利益は、1,850百万円と前年同期比8.1%の増益を見込んでおります。

(3) その他

売上高は、130百万円と前年同期比44.4%の増収、営業利益は、50百万円を見込んでおります。

(単位:百万円)

事業区分	2013年 3月期	2014年 3月期 (予想)	増 減	増減率 (%)	2013年 9月期
製品事業部 関連事業	23,085	24,300	1,215	5.3	11,724
IH事業部 関連事業	21,552	23,070	1,518	7.0	11,778
そ の 他	90	130	40	44.4	67
合 計	44,728	47,500	2,772	6.2	23,570

セグメント情報(連結営業利益予想)

(単位:百万円)

事業区分	2013年 3月期	2014年 3月期 (予想)	増減	増減率 (%)	2013年 9月期
製品事業部 関連事業	2,125	2,200	75	3.5	1,081
IH事業部 関連事業	1,711	1,850	139	8.1	1,016
その他	△9	50	59	-	26
合計	3,826	4,100	274	7.1	2,124

34

連結設備投資額

(単位:百万円)

	2012年 3月期	2012年 9月期	2013年 3月期	2013年 9月期	2014年 3月期 (予想)
設備投資額	4,184	1,436	4,627	1,532	5,200
減価償却費	2,699	1,228	2,669	1,250	2,800

1. 経営課題の確実な遂行

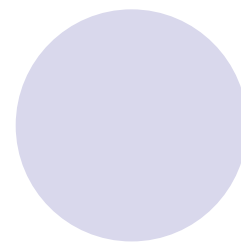
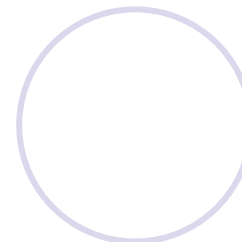
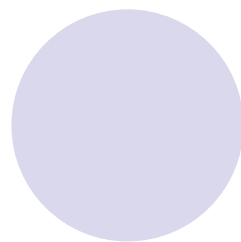
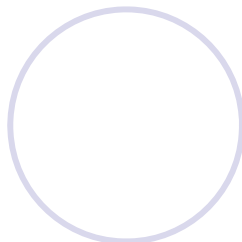
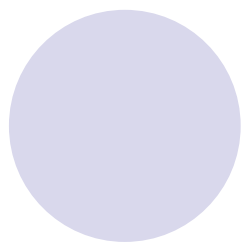
- (1) 受注量・シェアの確保とさらなる品質向上
- (2) 原材料・電力料金の値上げに対する適切な対応
- (3) 海外子会社(チェコ・インドネシア)および茨城工場の確実な立ち上げ
- (4) グローバル戦略の推進強化
- (5) 新商品・新技術・新規事業の推進

2. 経営資源の集中と資産・資本効率の向上

- (1) 設備・研究開発投資の選別的な実行
- (2) 内外投資の早期回収
- (3) 資産(有価証券・棚卸資産等)圧縮策の実行
- (4) 適切な資本政策(配当政策等)の実行

3. 企業価値の向上

- (1) 第12次中期経営計画「*Global Challenge 30*」の遂行
- (2) 買収防衛策の更新
- (3) IRの強化



ネツレン

高周波熱錬株式会社

(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、公表時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。